



NEWS RELEASE



平成 26 年 5 月 28 日

各 位

会 社 名 ロングライフホールディング株式会社  
代表者名 代表取締役社長 遠藤 正一  
(JASDAQ・コード：4355)  
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 瀧村 明泰  
(TEL. 06-6373-9191)

高齢者住宅新聞「ヘルスケア関連企業 株価研究」欄に  
当社の記事が掲載されました

平成 26 年 5 月 28 日の高齢者住宅新聞の「ヘルスケア関連企業 株価研究」欄に、当社の記事が掲載されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

概要

掲 載 日	平成 26 年 5 月 28 日 (水)
掲載紙面	高齢者住宅新聞 (第 304 号) ニュース・総合欄
掲 載 欄	第 13 回 ヘルスケア関連企業 株価研究
掲載内容	別紙参照

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

ロングライフホールディング株式会社 経営企画室

TEL. 06-6373-9191/FAX. 06-6373-9197

## 30年近い歴史

海外にも進出

ロングライフホールディング(4355)、10月期決算は、訪問入浴サービスで1986年(昭和61年)に介護業界に参入した。爾来四半世紀の歩みの中で、有料老人ホーム・グループホーム・デイサービスの展開を着々と進めてきた。医療福祉専門学校の運営も手掛けている。海外の介護事業にも積極的で、中国(青島)に次いで昨年3月にインドネシア、今年3月には韓国へ進出している。

同社の特色は、富裕層に照準を合わせた有料老人ホームの展開・運営に求められる。入居一時金3000万円前後、入居者層は医師

## 着実な収益動向 中長期構えで

## ロングライフHD・4355

・教授・経営者といった経歴者が主となっている。

14年10月期第一四半期時点で、運営する有料老人ホームは20カ所(803室)。入居率70・9%。前年同期

ヘルスケア  
関連企業

## 株価研究

比2・6%の減収ながら、6・9%増の経常利益を計上している。同社では「入居率は上昇傾向」とするが、前期決算後のアナリスト説明会でこう言及している。

「70%前後の入居率で利益を上げているのは、高価格帯の有料老人ホームの入園金の一時償却があるためと考えている。スタッフの賃金が斯界のトップクラスを維持しているのも、同様の背景による」

海外(シニアリビング)事業でも同様の経営方針が執られている。インドネシアでは広大な敷地2万6000坪に既に第1期として、マンションタイプ2棟・ヴィラ(いわば別荘)タイプ21戸がオープン。今後3年間にマンションタイプ7棟280戸、ヴィラタイプ120戸の開設が予定されている。

在宅サービスにおける介護の質の高さには定評がある。「自治体からの受託の多さが証し」と、アナリストは指摘している。

年初来高値の365円が目標値

関西地盤に四半世紀近い歴史を積み重ねる、ロングライフホールディングに対する株式投資の取り組み姿勢はどうあるべきか。

昨年前半の「異次元的金融緩和」の影響下、同社の株価も5月7日、503円まで(年初比88%)急伸した。が9月13日の245円まで調整、そこからシリジリ持ち直し1月23日につけた365円が14年の年初来高値。2月4日の279円まで利食い先行、時価は300円台前半。350円の予想税引き後配当利回り

は、1・14%。着実な収益動向が見込まれている点を考えると、時価買い・ホルドが良策と観る。

同社は、2011年5月に、1対200の株式分割を行っている。分割を勘案すると、10年11月の始値144円は3年後の昨年10月末まで、78%強上昇している。中長期構えで臨むことが賢明と観る。



経済評論家  
千葉 明

△筆者プロフィール  
1949年生まれ。明治大

学経済学部卒。「プレジデント」「ネットマネー」等の雑誌を中心に活躍中。「野村証券・企業部」「ザ・ノンバンク」「一流の経営」など著書多数。